



某日ー
都市部で大規模な
電波ジャック事件が
起こった

「きょつ…
強化剤カルテルの
皆様あそしてえ…
全国のモニター前の
皆様あ…」

新人チンポコ隊員 上志波 美琴ちゃん
♡ドスケベ着任お披露目ショー♡



「初めましてっ!!
この度強化剤カルテルの
ちんぽコ部隊に志願させて
頂きました」

『元強化警察警部補
上志波美琴と申しますっ!!』

「本日は強化男性の皆様と
モニターの前の皆様にい♡
自己紹介をさせて頂きます!!
よろしく願います!!」

「ブハハコイツが新しい
チンポコ隊員かw」
「元警官がココまで堕ちてんの
笑うわw」

「おい新入りっ!!早速
挨拶の仕方が間違ってるぞ」

「っ!!え?」

「生配信もされてて
初対面の相手もいるんだぞ?」

「乳もまんこも全部放り出した
最敬礼ポーズだろうがw」

「たっ…大変失礼致しましたあ
改めまして…♥
上志波 美琴と申しますう♥♥
よろしくお願いいたします♥♥」

んはっ〜

んはっ〜

んはっ〜

んはっ〜

「ブハハwいいぞwもつと胸
ぶんまわして愉しませるw」

「こんな下品なカラダで
良く警官なんて出来てたなw
コッチの方が適正あっただろw」

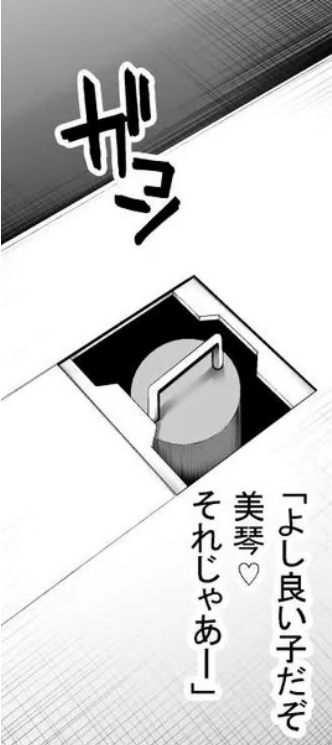
強化警察
警部補

上志波

「美琴ちゃんwおまんこ
カメラに映ってないぞ〜」
「配信にも見えやすいように
広げて見せるやw」

「はっ…はいい♥
こちらがあつ…美琴の
まんこ穴で御座いますう…♥」

「おっおw強化剤で
調教されまくった割には
綺麗な色だなw」



「よし良い子だぞ
美琴♡
それじゃあー」



「公衆の面前で
おまんこ晒しちゃつてw
犯罪者の仲間入りだね
美琴ちゃんw」

「へへへ...
おまんこw」

「これから俺ら全員で
真っ黒になるまでちんぽで
コスってやつからなw
美琴ちゃんw」
「はははw期待でまん汁
垂れてっぞwバカ新人w」



「今度はコレで全員に向かって
報告会だw」
「スケベ穴から調教具合まで
事細かにな」

「おw久々に出たなあ
見世物ポールw」
「コレ...ですかっ」



「どうした？
しつかりやれよw
でなきや絶頂阻害器
また二週間解除
してやんねえぞw」

「わっ...理解りましたあ♡」

「そっ...それでは皆様あ♡
♡注目ください♡♡」

「新人オナホ穴上志波美琴のお♡
ドスケベボディを紹介させて頂きますう♡」

「おっぱいはあ♡ーカットでえ…
乳首も強化剤でえ♡感度を
上げて頂いてますう♡」

かほあ

イタナ

ぶるん

ん

ハッ

「おまんこ穴は腫圧とお♡…
性感を♡強化していただきましたあ♡
特に♡子宮は重点的に
開発していただいてますう♡」

「勿論あつアナルう♡
ケツ穴もお♡チンポコキ用
にお使いいただけますう♡」

「グハハハ久々に見たわ
新人のオナホ穴
自己紹介w」

「ギャハハハハ
マンコがしゃべってる
みてえw」

「大好きな子宮口まで
バッチリ見えてるよ
美琴ちゃんw」

「よしっ!!
よく出来たなw」

「皆さんに
穴っぽこ褒めて貰えて
良かったな美琴♡」
「ブラハw
マン尻で返事すんなw」

「「褒美にー」

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

イタナ



「強化剤たっぷり塗り込んでやるぞ
性感増強特化の特別配合だ♡」



「久しぶりの強化剤アクメ
キめたいね？美琴ちゃんw」

絶頂を抑制します。

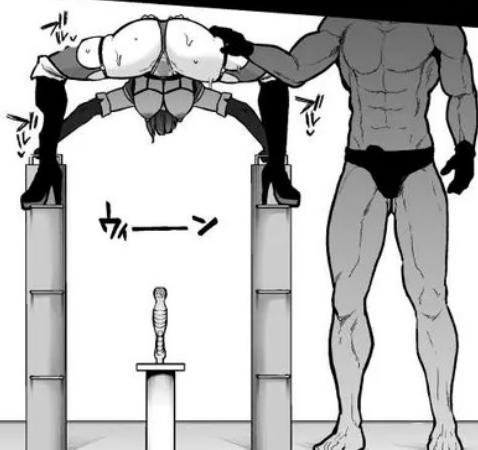
絶頂を抑制します。

「どっちみちソレ
解除して貰わないと
セルフ寸止め状態だぞw」

絶頂を抑制します。

「ミミリンw
皆様の前で勝手に
イこうとするなw」

「それじゃあこのままー」





「公開オナニーショーに移るかw」

「なんだありやw
エグい形だなw」

「AIのデーパーレーニングによって
形成した美琴専用
マンコ殺しデイルドだ」

「強化剤ローションの
トッピング付きだぜw」

「オナニー」



「練習した通りになw
皆様を満足させられたら
アクメ許可してやつから
気合入れて行けよ??w」

「ごっご主人様あ♥
ありがとうございます♡
そっ...それでは皆様あ♥」

「元婦警さんの美琴があ♥
違法な強化剤を使った
お気に入りのオナニー方法をあ♥
お披露目しちゃいたいと
おもいまあゝす♥」



「これからこの偽チンポ様に
負けちゃうんだよつてえ
マンコと自分に
言い聞かせてえ♥」



「凶悪デイルド相手にい
媚ひ媚ひマンスリキッス
かましまうしゅ♥」

「まずはあ♥
表面にたつぷり
塗り込まれた強化剤
マンコで舐め取りながらあ…」



「自分がただの穴つぽこ女だって
自分自身に理解らせましゅ♥」

「マンコがあ…交尾できるぞあ♥
つて勘違いし始めたらあ♥」

「ペリロロツクオニ状態で
待機してえ♥
ご主人様にい♥」



「うぐ♥大きな声で
オナ二ノ開始の許可を
求めますう♥」

「ご主人様あ♥
おマンコにデイルドの
挿入許可願いますっ♥」
「よしいいぞ美琴」



『許可出たっ♡
許可出たあ♡』

『まずは入り口い♡
浅いところだけで
出し入れしたりい♡』

『Gスぽあ♡♡これえ♡
美琴専用につって
くれたかりやあ♡』

『Gじゅぽ♡
じょりじょりできる
ところもあってえ♡♡』



『マッ♡あ♡負けたいいって
なってきたらあ♡♡
ゆっくりにデイルドの表面感じながらあ♡
奥までえ♡♡ゆっくりにい♡♡』

『おっ♡
ヤッバあ♡
イグイグ♡』

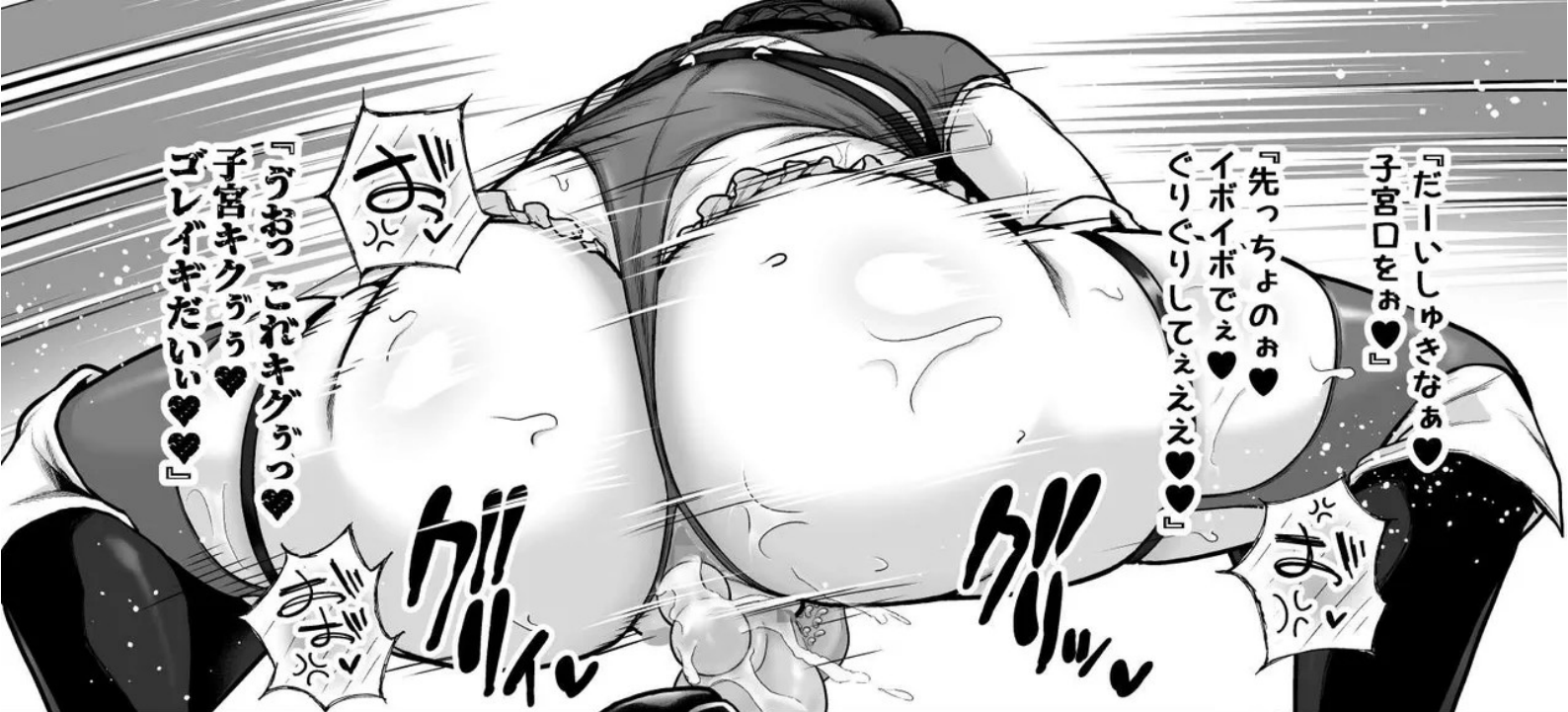
『今はあアクメ許可出ないのてえ♡
こっからはあ♡ご主人様にい♡
アクメ許可懇願しながらあ♡』

絶頂を抑制します。

絶頂を抑制します。

絶頂を抑制します。

ずぽい



『うおお、これキグうっ♡
子宮キグう♡
ゴレイギだいい♡♡』

『だーいしゆきなあ♡
子宮口をお♡』
『先っちょのあ♡
イボイボでえ♡
ぐりぐりしてえええ♡♡』

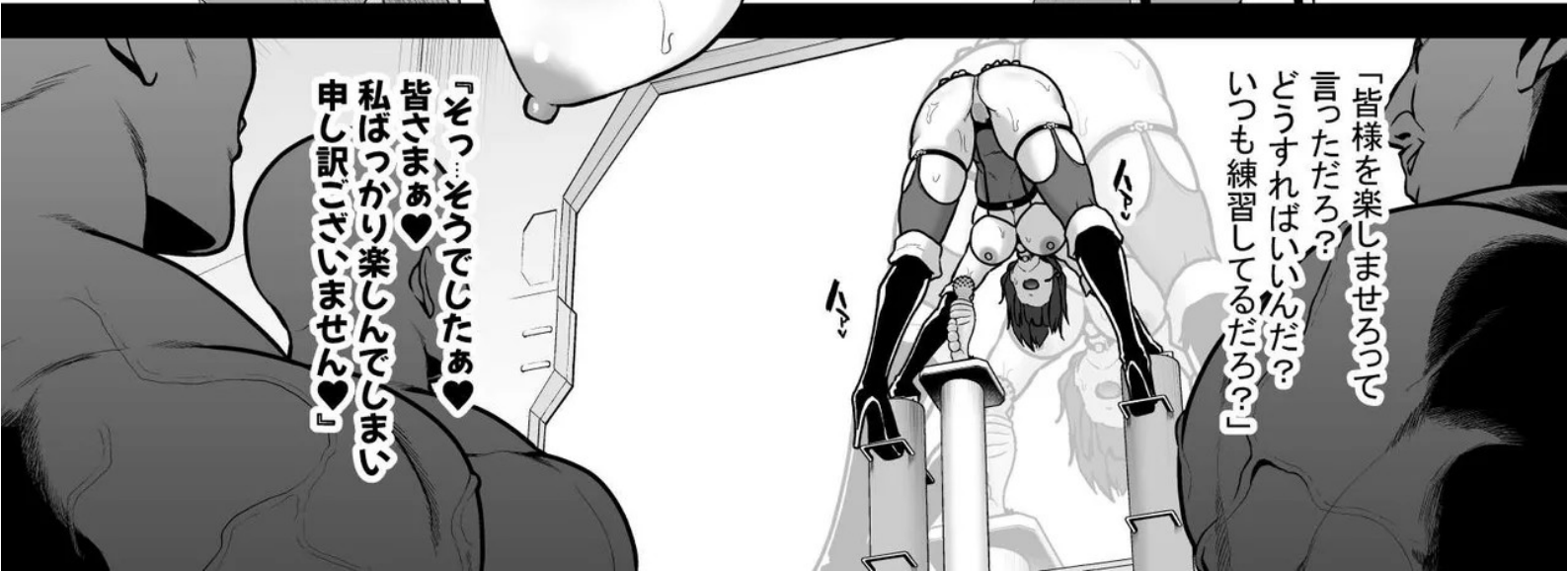


絶対を抑制します。

お願い♡♡♡♡♡

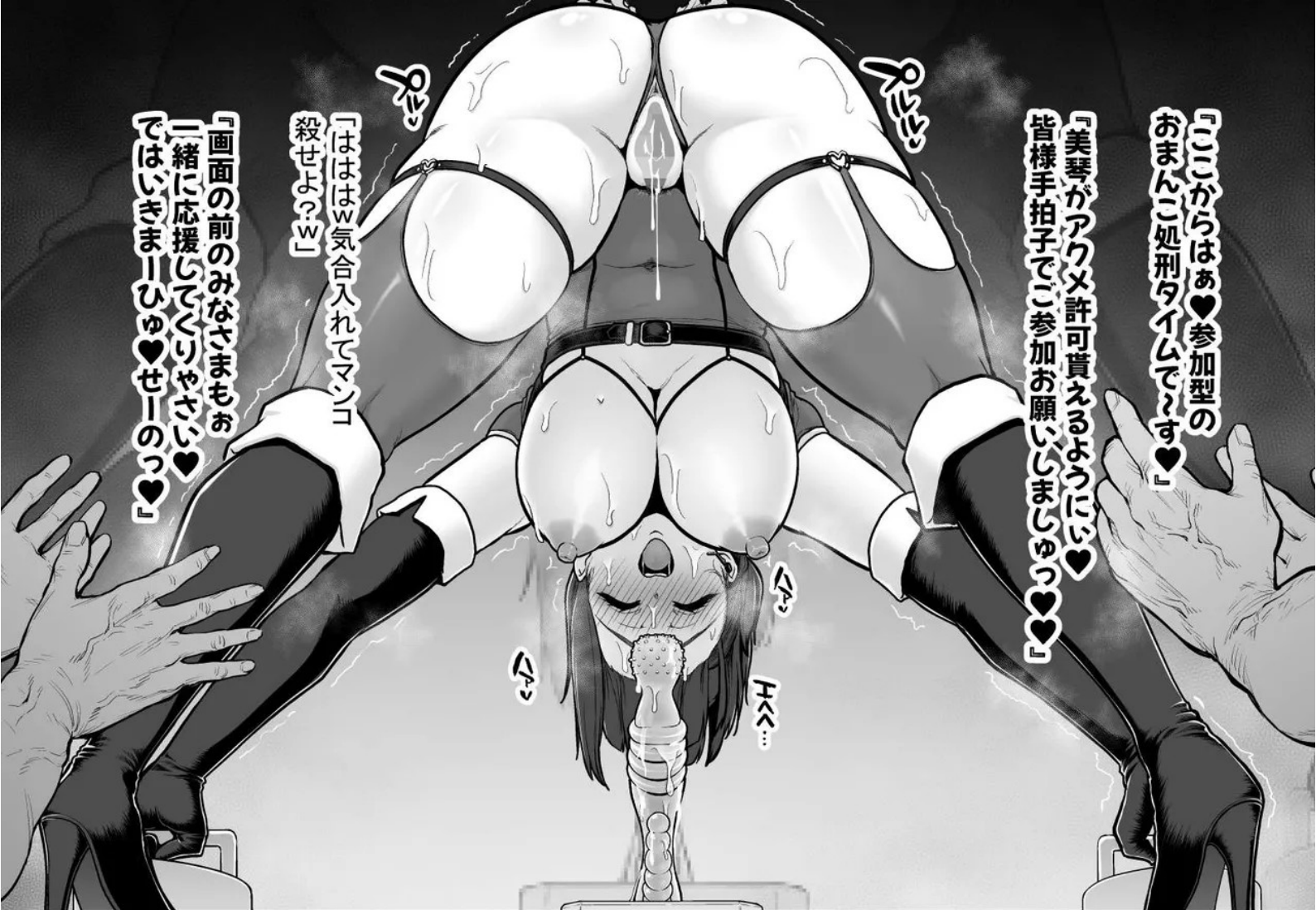
「はははw
ダメだぞ美琴」

絶対を抑制します。



「皆様を楽しませるって
言っただろ？
どうすればいいんだ？
いつも練習してるだろ？」

『そっ…そうでしたあ♡
皆さまあ♡
私ばかり楽しんでしまい
申し訳ございません♡』



「ここからはあ♡参加型のおまんこ処刑タイムで〜す♡」

「美琴がアウメ許可貰えるように♡皆様手拍子で♡参加お願いしまじゅっ♡♡」

「はははW気合入れてマンコ殺せよっw」

「画面の前のみなさまも一緒に応援してくりゃさい♡ではいきま〜ひゅ♡せーのっ♡」



「おいっちに♡おいっちに♡」

「オラwもつとフザマにケツ振れマゾ婦警w」

『うう♡はやいイイ子宮ちゅうう♡♡』

「いぞ美琴」

「イけっ」

対象の絶頂を許可します。



「おお美琴
なんだあそれは？」

「散々練習しただろっ!!
アクメするときは!!
どう教えた?」

「おお美琴
なんだあそれは？」

「おお美琴
なんだあそれは？」

「うっうっああああ
アクメする時はあ♡
感謝をしながらやっ♡
ケツは頭より上ですうっ♡」

「理解ってんなら
何でやんなかった？」

「うおっ♡お腹ぐりぐり止めてえ♡
子宮つぶれりゅ♡つぶれりゅ♡」

ガッ♡

ガッ♡

「うっうっああああ
アクメする時はあ♡
感謝をしながらやっ♡
ケツは頭より上ですうっ♡」

「うっうっああああ
アクメする時はあ♡
感謝をしながらやっ♡
ケツは頭より上ですうっ♡」

「うっうっああああ
アクメする時はあ♡
感謝をしながらやっ♡
ケツは頭より上ですうっ♡」

「子宮小突かれる度に
雑魚まんこ大喜びしてんぞw
あのエロバカ婦警w」



「まあ失敗もあったが
及第点だw頑張ったな美琴w
潮吹きも上手だったぞ♥」

「申し訳ございませんでしたあ♥♥
これからあ♥教えていただいた通りに
強化男性の皆様を悦ばせられるように
一生懸命頑張りますひゅう♥」

「はははw焦るな美琴
その前に今度は
モニター前の奴らに
教えてやれ」

デロ
デロ

「弱化剤と」

ザッチン
れんとワン♥

ギシ

ギシ

「お前の元相棒の
使い道をなw」